

The library news

夢の図書館

11月号 (第212号) 2019年11月29日発行

夢野台高校図書委員会編集B

あと1か月で令和元年も終わろうとしています。この貴重な元年をどのように過ごしましたか？また、これからの令和をどのように過ごしますか？みなさんがこれからの長い人生の中でたくさんの本に出会い、素晴らしい人生が送れるように本を紹介していきますので楽しみにしてください。ちなみに、令和おじさんこと菅官房長官はパンケーキがお好きなそうです。

図書委員のおすすめ本

「告白」

湊 かなえ 著



六章に分かれていて学校についての物語です。一見難しい内容なのかと思いきや学生独特の感情や人間関係が描かれています。一方で非日常的な場面も多くあり時おりゾクッとすることもあります。読んだ人の心を動かす「告白」ぜひ読んでみてください。

(1年 M.S)

「きのうの影踏み」

辻村 深月 著



「小学校のころね、友達が消えたの。」嫌いな人を消せるおまじないによって消えてしまった友人、ある作家のもとへ来た意味の分からない不気味な手紙、何気ない日常の中に忍び込む恐怖を詰め合わせた短編集。

(1年 Y.K)

「さくら」

西 加奈子 著



ヒーローだった兄ちゃんは20歳4か月で死んだ。超美形の妹、美貴はうちにこもった。母は肥満化し酒に溺れた。僕も実家を離れ東京の大学に入った。あとは見つけてきたときにしっぽにピンク色の花びらをつけていたことから「サクラ」と名付けられた12歳の老犬が一匹だけ。そんな一家の灯火が消えてしまいそうなある年の暮れのこと僕は実家に帰った。寂しくも温かい、家族の絆を感じるお話です。

(1年 H.T)

明日の子供たち

有川 浩 著



三田村慎平は転職先の児童養護施設で働き始めて早々壁にぶつかる。この施設で働く職員の中で“問題のない子供”として知られる16歳の谷村奏子がなぜか慎平にだけ心を固く閉ざしてしまったのだ。思いが連なり響くとき、昨日と違う明日がやってくる。慎平が日々成長する姿を優しい目線で描く物語。

(1年 G.A)

また、同じ夢を見ていた

住野 よる 著



学校に友達がない主人公が様々な問題を抱えている三人と一匹に出会い幸せとは何かを考え成長していくストーリー。幸せについて考えさせられる話です。

(1年 匿名希望)

11月といえばぎりぎり秋!

～というわけで秋といえば食欲の秋～

秋の旬な食べ物をご紹介します!!

- サンマ 旬のサンマは程よく乗っている油のおかげでジューシーな焼き魚にしても旨味たっぷりなお造りとしてもどっち選んでもおいしいですよ。



- 鱧(はも) 高級魚として知られている魚です。徳島県や淡路島などで多く水揚げされます。京都三大祭りの一つである「祇園祭」の頃に多く食べられているため夏が旬だと思われがちですが10月初旬から11月初旬にかけて旬です。淡白な白身で味わい深いのが特徴です。湯引きに梅肉をつけて食べるのが一番おいしいと思います。



(by 日本で47番目に有名な県の親善大使)

- 松茸 上品な香りによく知られていますよね。土瓶蒸し者ホイル焼きなど様々な楽しみ方がある高級食材の代名詞です。

(ちょっと遅いですが)秋という今が旬なのでぜひご賞味あれ!!

- 島根でどんちっちのどぐろ(アカムツ)が絶品ですよ! →
様々な地域のおいしものを食べてみてはいかがでしょうか。

